



PC 建築部会長

加藤 茂裕 氏トヨタT&S建設株式会社
代表取締役社長

2023年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年はプレハブ建築協会設立60周年の節目の年であり、これまでの諸先輩方の御功績に心より感謝いたします。高度成長期のなか良質で大量の住宅供給をという社会的要請に対し、工業化手法による量産体制を構築するにとどまらず、品質規格の統一や技術者資格制度の確立などプレハブ技術の礎を築いていただきました。節目を迎えるにあたり、協会の未来に向け諸先輩方の志をさらに進化させるべく、襷を繋いでいかなくてはならないとの使命感を強くしております。

さて、会員各社の皆様方には普段からPC建築部会の活動に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

長期化するコロナ禍や国際紛争の影響についてはご存知のように、人々の移動制限の緩和や運輸、旅行業界での活動再開などグローバルでの経済活動回復の兆しは感じられるものの、製造や物流業界でのバリューチェーンとしての足並みは未だ揃わず、我々建築業界への向かい風となる影響はしばらく続く見通しです。原材料、燃料、構成部品等の高騰に加え、急激なエネルギー費の高騰も深刻な事業経営リスクを生んでいます。

国内での建築需要は都市部での集合住宅を含む再開発事業や大規模物流拠点整備を中心に堅調である一方で、建設の現場では資機材の調達長期化や慢性的な労働力不足が続いており、工期遅れのリスクがさらに強まっています。

このような厳しい状況を打破し、建築業界が持続的成長を遂げていくためには、BIM/CIMなどデジタル技術及び人に代わって作業をこなすロボティクス技術の活用や現地工事レスへのプレハブ化、ユニット化などの施策による生産性の向上がますます重要視されてきています。

併せて建築を取り巻く環境としてのSDGsにも注目が集まってきております。災害に強いまちづくり、住まいづくり、カーボンニュートラルへの貢献はもちろんのこと、資源再利用として老朽化した既存施設のリニューアルやリノベーション技術の開発など、今後もプレハブ建築への期待は大きいと考えられます。

PC建築部会におきましてはプレキャストコンクリートの強みである耐震、耐火性はもちろんのこと、高い環境性能や工期短縮効果についても更なる技術研鑽を進めております。災害からの復興住宅対応への備えや既設集合住宅の建替え、リノベーションなどの取り組みを通じて、PCの持つポテンシャルを引き出していきたいと考えています。

併せて「PC構造建築物等審査事業」「PC部材品質認定事業」「PC部材製造管理技術者資格認定事業」「PC工法施工管理技術者資格認定事業」の主要事業を通じてPC建築に関わる場づくりと人づくりを進めておりますが、コロナ禍で培ってきた現地現物とリモートを併用しながらの事業運営を進化させ、スピード感を持って柔軟に対応してまいります。

PC建築業界にとって個社での持続的成長には乗り越えなければならないハードルが幾つも立ちはだかっている状況が続きますが、日頃切磋琢磨している各社が中長期の課題に向かって、皆で知恵と技術を絞り出し合いながら解決策を見出しているチャンスでもあります。PC建築部会が仲間を結びつける役割を果たし、業界全体での建築手法の進化と技術者の育成に努めていく所存です。今後とも、皆様方の格別なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の社業の益々のご発展と、今年一年の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。